

小学部 第6学年 成果報告書

令和3年6月21日(月) 4校時  
 アグアス校 小学部6年2名  
 指導者 内海 優奈  
 アグアス校 小学部6年1名  
 指導者 下重 卓也

1 教科 教材名

道徳科 内容項目 B(10) 友情, 信頼 「ロレンゾの友達」

2 単元のねらい 評価の観点

友達とはどのようなものか考えることを通して, 友達を信頼し, 人格を尊重する意欲と態度を育てる。

3 指導観

(1) 教材観

本教材は, 「内容項目 B(10) 友情, 信頼」をねらいとする教材である。友達は児童にとって, 共に学んだり遊んだりする特別な存在で, 互いに強く影響し合う存在である。中学年では「友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと」について学習し, 友達の大切さについても考えてきた。第6学年では, 友情関係のトラブルも増える時期であることから, 自分の考えばかりを押し付けるのではなく互いに信頼し, 助け合って, よりよい人間関係を築いていこうとする実践意欲を育てたい。第6学年で「友情, 信頼」についての内容項目を扱うのは本教材が初めてである。本教材は, アンドレ, サバイユ, ニコライの3人と, 犯罪の疑いがかかった旧友ロレンゾの再開をえがいた物語である。物語の中の3人は友達に向けての異なる考え方を持っており, 登場人物の立場に立つことで, 友達とはどのようなものかと思うか自分の考えを整理し, 友達の考えとも比較しやすい教材である。友情について考え, 話し合うことを通して, これから自分がどのような友情関係を築いていきたいかを改めて考えさせたい。

(2) 児童・生徒の実態

アグアスカリエンテス校の児童数は2名, サンホセ校は1名とどちらも少人数学級であるため, 子どもたちの普段の学校生活では人間関係が限られている。本校とサンホセ校の6年生は, 昨年度から定期的に合同授業を行い, 自分の意見を伝え合うことができる児童同士の人間関係はできている。本教材の「友情, 信頼」についての内容を, 普段とは異なるメンバーの合同授業で行うことで, 多様な友達の考えに触れ, 自分の考えを広げたり, 深めたりすることを期待する。

また, 児童は昨年度のコロナ禍でのオンライン授業を通して, Google アプリケーションを利用することに慣れている。授業をつなぐ Zoom の機能だけでなく, アプリケーションの Google ドキュメントを活用して, 発言以外の方法でも自分の考えを共有する手立てにしたい。

4 本時(全1時間)

(1) 指導の経過

段階	時間	教師の活動(発問・指導の工夫)・児童の反応 ○教師の働きかけや指導上の留意点 ◎本時の指導の工夫	児童・生徒の学習活動 1, 2, 3...学習内容 ・学習活動	資料等
導入	5分	T:友達だったらどんなことがあっても信じられるか。 C:信じるが, どんなことがあったかにもよる。 (T: そのように考えたのはなぜか。) (T: 具体的にどんな場面は信じられないのか。) ◎ 「どんなことがあっても」という条件をつけることで, 友達について考えるきっかけにする。 T:信じられなくても, 友達といえるのか。	1. 友達を信じることについて考える。 ・ 友達ならどんな場面でも信じられるかを考え, 発表する。 ・ 信じられない場面を想像し, 本当の友達とは何か疑問を持つ。	
展開	10	○ 本時のめあてを提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">本当の「友達」とはどのようなものか。</div>	2. 「ロレンゾの友達」を読み, 情報	教科書

	<p>分</p>	<p>○ 「ロレンゾの友達」を読む。</p> <p>○ その後の話し合いがしやすいように、誰がどの人の立場なのか視覚的に示す。</p> <p>T: あなたがロレンゾを待っていたとして、アンドレ、サバイユ、ニコライの誰の考えに近いか。</p> <p>C: 警察に行き行って捕まってしまったらかわいそうだから、サバイユの考えがよい。</p> <p>C: 友達でも悪いことはいけないと思うから、ニコライの考えがよい。</p> <p>(T: Cさんの考えを聞いてどう思うか。)</p> <p>(T: 悪いことをしている人でも協力して逃がしてあげるのか。)</p> <p>(T: ロレンゾが自首をしたくないと言っても、警察に知らせるのか。)</p> <p>(T: 3人のうち、自分が選んだ人と違う人の意見でも共感できるところはあるか。)</p> <p>(T: 3人うちがう考えがある人はいるか。)</p> <p>(T: ロレンゾの立場では、どのようにしてほしいと思うか。)</p> <p>○ 児童の考えが偏った場合は、共感できる部分がないか児童に質問し、考えが出ていない人の意見と理由を提示する。</p> <p>○ 3人のそれぞれの立場、または、ロレンゾの立場になって考えるように促す。</p> <p>○ 3人の意見を参考に組み合わせたり、新しい対応を考えたりしてもよいことにして、友達として、どのような思いでそのように考えたのかを重視する。</p> <p>○ 子どもたちとの対話の中で、「友達だったら」や「本当の友達だったら」という言葉を用いて、友達について考えさせる。</p> <p>○ 3人の友達としてのロレンゾに対する思いを引き出す。</p> <p>T: アンドレ、サバイユ、ニコライに共通する、ロレンゾへの思いはあるか。</p> <p>C: ある。ロレンゾのことを大切に思っている。</p> <p>○ Google ドキュメントを送信し、本時のまとめをする。</p> <p>◎ 本時の流れを振りかえることができるように、Google ドキュメントに板書のスクリーンショットを貼る。</p> <p>T: 本当の「友達」とはどのようなものか。</p> <p>C: 相手のためになることを考えるもの。</p> <p>C: お互いに信頼するもの。</p>	<p>を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンドレ、サバイユ、ニコライの3人の考えを文章から読み取る。</li> </ul> <p>3. 自分がロレンゾの友達だったら、どのように考えるかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンドレ、サバイユ、ニコライのうち、自分の考えに近い人を選ぶ。</li> <li>・ 自分がその人を選んだ理由や、友達の考えについて思ったことを共有する。</li> <li>・ 自分と異なる人を選んだ意見でも、共感できる部分を探す。</li> <li>・ 友達としてどんな思いをもって、自分だったらどのように行動するかを考える。</li> </ul> <p>4. 考え方の異なる3人から、共通する友達への思いを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3人がそれぞれロレンゾのことをどのように思っているのかを探す。</li> </ul> <p>5. 本当の「友達」とは何かを考え、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「友達」について考えたことをGoogle ドキュメントに自分の言葉で書き、発表する。。</li> </ul>	<p>P56～61</p>
<p>まとめ</p>	<p>40分</p>	<p>○ Google ドキュメントで、今日の授業で考えたことのふりかえりを行う。</p>	<p>6. 本時のふりかえりを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Google ドキュメントに自分のふりかえりが書く。</li> <li>・ 書き終わったら、友だちのふりかえりを読む。</li> </ul>	



たちの考えの広がりや深まりを見て、まずは簡単な授業でも一緒に行ってみることが大切だと感じた。これまでの他の教科でも交流を重ねてきて、子どもたちの関係ができていることが、今回の合同授業で互いに意見を伝え合えたことにもつながっていると思うので、これからも様々な教科でよい影響をし合える仲間として交流を続けていきたいと感じた。

(6) 教室レイアウト (ICT 機器の配置)

